



創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』会長 鈴木孝幸
幹事 須藤正樹

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度国際ロータリーテーマ

第1717回例会

令和4年6月30日(18:30～19:30)

○ソング

●奉仕の理想

○スマイルBOX

●鈴木孝幸会長(会員の皆様、一年間この至らない会長を支えて頂きまして感謝致します。次年度の高島会長、車田幹事、宜しくお願い致します。)

●須藤正樹幹事(今日は最後の幹事報告でした。短いようで長い一年間でした。皆様有難うございました。鈴木会長有難うございました。)

●山口治会員(鈴木孝幸会長、須藤正樹幹事、一年間お疲れ様でした。次年度は少しゆっくりしてください。又SAA委員の皆様ご苦労様でした。無事SAAの責務をまっとうする事が出来ました。感謝です。)

●鳴島三夫会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間ご苦労様でした。今日はゆっくりお酒を飲んでお過ごし下さい。)

●藤田和克会員(鈴木孝幸会長、須藤正樹幹事、一年間お疲れ様でした。親睦委員会、スマイルBOX委員会の皆様、一年間お疲れ様でした。)

●関谷亮一会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間大変ご苦労様でした。横田会員御栄転おめでとうございます。大変御世話様になりました。新天地でのご活躍をお祈りいたします。)

●中目公英会員(鈴木孝幸会長、須藤正樹幹事、大活躍の一年間ご苦労様でした。)

●吉野敬之会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間のお努め大変ご苦労様でした。終わってしまえば早かったと思いますが、重責の中過ごした一年間はやはり苦労の多い年だったと思います。来週からはリラックスして例会に御参加下さい。)

●池田浩章会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間大変お疲れ様でした。又、心からのご指導頂き有難うございました。)

●金田昇会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間お疲れ様でした。またガバナー補佐として一年間大変お世話になりました。)

●佐藤清作会員(鈴木会長、須藤幹事、コロナ拡大の中一年間大変ご苦労様でした。お世話になりました。)

●阿部克弘会員(鈴木孝幸会長、須藤正樹幹事、一年間ご苦労様でした。IT委員会も何とか会員の皆様の協力が無事終了する事が出来ました。有難うございます。)

●高島裕会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間大変お疲れ様でした。今後ともご指導宜しくお願いします。また本日で57歳になり結婚記念日のお祝いも頂きました。有難うございます。)

●片倉義文会員(久しぶりの出席です。宜しくお願いします。)

●鶴丸彰紀会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間有難うございました。委員会皆様へ感謝も合わせてスマイル致します。)

●運天直人会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間お疲れ様でした。また横田さん栄転おめでとうございます。私も無事担当委員会を終える事ができ、皆様に本当に感謝致します。次年度はスマイルBOX委員会で今年同様皆様のご協力をお願い致します。有難うございました。)

●居川孝男会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間ご苦労様でした。この経験を後生に伝えて、今後ともRCのご指導をお願い致します。)

●石部辰雄会員(鈴木会長、須藤幹事、見事な役職に感謝致しております。)

●永山龍太郎会員(会長、幹事、一年間お疲れ様でした。途中でどこかに飛んで行ってしまいましたが、無事こうして戻って来る事が出来ました。改めて、これから宜しくお願い致します。)

●白岩修一会員(会長、幹事、一年間お疲れ様でした。入会后、中々例会に出席できませんでしたが、今後とも宜しくお願い致します。)

●横田俊郎会員(大変お世話になりました。とても楽しい三年間でした。有難うございました。)

●車田裕介会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間お疲れ様でした。御二人が作った西RCの流れを引き継いで高島会長を微力ながら支えて参ります。今後とも宜しくお願い致します。)

●成井正之会員(鈴木孝幸会長、須藤正樹幹事様、コロナ感染蔓延の中の例会運営、また計画された事業が滞りなく遂行されました事は大いに称賛される事だと感じます。一年間大変ご苦労様でした。横田俊郎様、短い間でしたが良く出逢いが出来ました。次の赴任先で頑張ってください。)

●永野文雄会員、吉田充会員、仁平喜代治会員、佐藤幸彦会員、安部和夫会員、堀田一彦会員、宮本多可夫会員、村上堅二会員、矢田部錦四郎会員(鈴木孝幸会長、須藤正樹幹事、一年間ご苦労様でした。)

●大住由香里会員(鈴木会長、須藤幹事、一年間お疲れ様でした。横田会員、お世話になりました。)

▶第1717回例会出席状況 (R4年6月30日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	31名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	1名
Ⓔ ②の出席者数	13名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	45名
Ⓕ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓔ)	64
Ⓖ = Ⓖ / Ⓕ × 100 (例会出席率)	70.3%

▶例会日:第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場:白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局:〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、こんばんは。今日もお忙しい中、例会に参加していただきまして大変ありがとうございます。とうとう、今年度最後の例会になりました。皆様には私の下手な会長の時間に一年間お付き合いいただきまして、本当にありがとうございます。今日は、会長幹事慰労会であります。鶴丸委員長はじめとした親睦委員会の皆様、設営大変ありがとうございます。楽しみにしております。今日は、二年前の話をいたします。中目さんに私が会長を進められた時の話をちょっと振り返ります。当時、中目さんから2回、次次年度の会長はいかがですかというふうな話がありました。一度目をお願いされた時は、心の準備もできていませんので、先輩方、幸彦さんとか齋藤孝弘さん、そして諸橋さんなんかもまだ会長をやられていなかったという中で、私がやるのもちょっとまじいだろうという気持ちもあったりです。その時、私は自称不真面目で不良ロータリアンというように自負していましたので、私が会長なんてまず考えられないという気持ちでおりまして、中目さんには本当勘弁してくださいとお願いしてお断りしたのを覚えています。その後、中目さんからどのくらいかな。1か月半くらい経ったでしょうか。二度目の連絡がありまして、その間多分中目さんは会長の候補者の方々にあたったんだと思います。幸彦さんとかもそうですけども、阿部さんとかですね、先程言った孝弘さんとか諸橋さん、多分みんなに必死をお願いしたと言っていました。ことごとく断られてしまったんだよというふうに言っていました。二度目のその中目さんの電話では、もう泣き落とし状態だったと記憶しています。本当に当時の私は正直仕事は忙しいんですけど、子供は二人とも大学に行ってまして手もかからない状態。会長をやりたくない理由というのは、毎週この会長の時間を皆さんに変な事も喋れないだろうということで、いろいろ考えて準備することで多少なりとも、いや、かなりですけども、仕事に影響が出るんだらうと。結果、仕事に結構影響が出たこともありますけども。先程も言いましたが、そういった状態。あとは、一番は私の会長としての資質が足りないなんていうこともあったので断っていたんです。あとは、こういうことも考えまし

たね。過去に会長をやってくださいとお願いされた先輩方も、それが理由かどうかわかりませんが退会してしまったみたいなのもあったので、その気持ちもその時はわからないでもないなんて思った次第でありました。中目さんはそれでも私に電話してくれた時には、電話口で「もう、孝幸さんの受けてもらえなかったら、私はどうすればいいんだ。」とこんな感じなんです。本当に、私は中目さん非常に大好きで、中目さんにここまで困って頼まれたら、これはもう自分で自信がなかりょうが、時間が作れなかりょうが、これは絶対に受けてやらなきゃいけないなんて。あっさり心が折れて、やる自信も何もなかったんですけども、とりあえず受けようという形で受けさせてもらったと記憶しています。いろいろ先輩にも悩んでる時に相談したんですけど、ある西クラブの先輩が言いました。「孝幸君、会長毎年こうやって誘われるというのは、期待の裏返しだよ。期待の証明だよ。これは言われなくなってみ。もう、絶対寂しいはずだから。」というふうに言われたんですね。いや、それもそうだななんて本当に思って、言われてるうちが華だなんて思って、受ける気になったというのがその時の気持ちです。本当に嫌々ながら受けたという感じでした。しかし一年間、人間は変わるもので、こうやって皆さんに支えられながら会長職を一年間続けますと今、本当にほっとしていますし、みんなにやり遂げさせていただいたなというふうな気持ちと、本当に充実感がひしひしと感じている今であります。今もし私がまた一年間、会長をやらねと言われたとします。多分、私はノーと言わずに考えさせてくださいと言うと思います。2年前だったら絶対やらない、やりませんって言ったかもしれませんが、本当に絶対やらないとは言わない自分に、この一年間で変わったと思っています。私の幹事の時、会長をやった矢田部会長だったんですが、多分「はい、喜んで。」と言うと思います。会長終盤の時期に、矢田部パスト会長はもう一年会長をやりたいと、演歌でカラオケで熱唱していたのを本当に思い出します。これから、会長職をやられる方、候補者の方に伝えたいことがあります。あくまで私の主観ですけど、一年間、会長職を務めさせていただいて思ったことであります。それは会長職はやっぱり絶対やったほうが良いというふうには私は思いました。時間的な制約とか、あと会社の職員の協力などのハードルがクリアできるのであれば、絶対にやったほうが良いと思いました。私、2年前は絶対やりたくないと思っていました。しか

し、一年間こうやって会長職をさせていただいて、こういう考えが変わって、調子がいいことを言いますけれども、本当にそこにはこの一年間やった人にしか味わえない世界がありました。西クラブでは、2回会長をやられた方はいないと聞いております。私は一度会長を経験した方でも、本人がやりたいのであれば無理やりやりたくない人にやらせるより、2回目でもやりたい人にやらせたほうがいいのかなんて本気で思いました。先輩に相談したことがありました。佐藤幸彦デグジネートが決まる前のタイミングで先輩は私にこう言いました。西は会長をやる人材が沢山いるんだから、やっぱりそれは駄目だよ。そういうふうに諭されました。今になって、その考えがわかりました。こんな素敵な役職は独り占めしないで、みんなで回していかなければいけないんだと。そういうことを先輩は私に教えてくれたんだと思います。パスト会長の中で、会長をやって失敗した後悔したという人は、西クラブのパスト会長誰一人としていないと思います。ですので今後、次年度の会長よろしく申し上げますと、皆さんが誘われる機会がありましたら、騙されたと思って、素晴らしい一年を体験できるんだと思って、「はい、喜んで。」と受けてくれれば嬉しいなと思っています。おまけですけども、私が会長を始める前に西クラブの某先輩が、私に言いました。「会長になると運気が上がるんだよ。仕事も増えるんだよ。やってみな。」と言われたことがありました。まあ、本当にこの一年間を振り返るとまさにそのとおりでありまして、例会でも一度話しましたが、それまでプロポーザルでも連戦連敗で、血尿も出たり精神的にも追い込まれて疲弊してたんですけど、会長をやった7月以降に、県の総合評価方式で一億円規模の仕事で落札することができたんですね。会社の年間の売り上げは、1億3000万円～4000万円位しかないのに、その仕事一本で食ってけるぐらいの仕事がドカンと来たんですね。そういった話もありましたし、あとは今年は東京の事務所とプロポーザルを臨んで、県中建設事務所管内で工事費80億の仕事の設計も受注出来たり、あと民間の受注もほぼほぼ順調であったり、あと実はつい最近、某町の小学校の児童館ですが、そんなに大きくないんですけど、650平米くらいですけど、そのプロポーザルも思いがけなく取ることができたみたいな感じがありました。本当にこれは先輩が言っていた、会長になると運気が

上がるよというのは本当なんだなんて実感した次第であります。逆に、会長を辞めた来年が非常に心配なわけですけど、そういった会長をやる精神的に期待できることもあるのかなと思いました。ということで、私の最後の会長の時間は、会長をお願いされたら是非「はい、喜んで。」と受けてくださいというお願いがありました。まだまだ会長をやる時期じゃないと思っている方も、もちろん女性の方もあつという間に順番は回ってくると思いますので、その時には、是非心の準備をして、鈴木孝幸がこんな事を言っていたななんていう感じを思い出して、是非受けていただきたいと思います。それでは、これで会長の時間一年間終了いたします。本日は、会長幹事慰労会、よろしく願いいたします。

■幹事報告

須藤正樹幹事



○東北地区連盟コミッショナー、仙台東ロータリークラブ、コミッショナー 岩山伸次、事務局 福島西ロータリークラブ 久米允彦：全国ロータリークラブ甲子園野球大会東

北地区連盟代表者会議経過報告

- 白河ユネスコ協会会長 小野利廣：令和4年度白河ユネスコ協会会費納入について（依頼）
- ガバナーエレクト 佐藤正道、次期地区研修リーダー 石黒秀司、次期公共イメージ・IT委員会委員長 町田晃：「公共イメージ・IT委員会セミナー」開催について
- 次期県南分区分ガバナー補佐 郡部仁喜：クラブセントラルへのお願い
- 国際ロータリー日本事務局財団室：財団室NEWS 2022年7月号
- ガバナー 志賀利彦：地区運営規定改定について
- ガバナー 志賀利彦、地区幹事 蛭田修二：国際ロータリー第2530地区 2021～22年度ガバナー事務所閉鎖のお知らせ

会長・幹事慰労会

司会 藤田 和克会員
吉成真五郎会員



○会長挨拶

鈴木孝幸会長



皆さん、改めましてこんばんは。会長の時間で結構喋ったので、あっさりです。本当に会長幹事慰労会、もうこの一年間経って、この会長幹事慰労会のこの場になるのは本当に早いなんて感じております。

今日は、いろいろ皆さんにお礼回りで注ぎに回らせていただいて、最後の最後はとことん飲みでお付き合いしたいと思いますので、今日はよろしく願いいたします。

ロータリー事務局2年生ということで、なんとか終わることができました。その終わることができたのは、皆さんからロータリアンとして真摯に活動してる姿を見せていただき、その姿からパワーをいただいて頑張ることができたと思います。未熟で皆さんに多々ご迷惑をおかけしたと思いますけども、次年度も皆さんからパワーをいただいて一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻よろしく願いいたします。一年間、本当にありがとうございました。

○幹事挨拶

須藤正樹幹事



いきなり振られるとは思いませんでした。一年間本当長いようで短い、短いようで長い一年間でした。本当に皆さんにはさっきも言ったように言葉足らずで伝わらない部分いっぱいありましたけど、どうにか一年間終わってもう今は終わった気満々でいるんですが、本当に皆さん、ありがとうございましたと言えません。本当、助かりました。



事務局の吉田様へ
花束贈呈

○鈴木孝幸会長

横田君、会計、何年やりましたか。決算全部終わらせていただきました。大変ありがとうございました。ゴルフでは永遠のライバルでしたね。福島に行っても西ゴルフクラブに無理やり誘いたいと思います。これからも新天地で頑張ってください。



横田俊郎会員へ
お礼の贈呈



会長・幹事へ記念品の贈呈

○事務局

吉田様



皆さん、こんばんは。こういう場で話す機会が少ないものですから不慣れで話できず、今ドキドキしてる状態です。鈴木会長、須藤幹事、一年間、お疲れさまでした。大変お世話になりました。また、会員の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございます。

○横田俊郎会員



皆さん、こんばんは。こんなお祝いまでいただきまして、大変ありがとうございます。今日は、鈴木会長、須藤幹事の最後の例会ということで、水を差すようでございますけれども、先週の例会でご案内させていただきましたとおり、人事異動で福島市にあります泉笹谷支店という所に転勤ということが決まりました。3年半

に渡りまして会計を務めさせていただきました。大変、ありがとうございます。最初は、鳴島会長、青木幹事ということで、その次が、中目会長、兼子幹事。そして、吉野会長、堀田幹事。最後が、鈴木会長、須藤幹事ということで、4代の会長、幹事の皆様に大変優しくしていただきまして、また会計監査のほうでは居川先生にすべてお世話になりまして、何とか務めることができました。大変、ありがとうございました。堀田さんが仰ってましたけども、福島県内で一番楽しいロータリークラブだというふうに仰ってまして、本当に心の底からそう思っております。特に、思い出に残っているのは35周年の記念事業と、先日行われましたIMですね。本当に皆さんが地域のこととか、将来のことを一生懸命考えてらっしゃるということを感じることができました。本当にロータリーに入会出来て、私の人生にとっては大変貴重な経験をすることができたと思っております。次は、わたくし共の新白河支店の寺島支店長という方が来週から新しく入会されます。わたくしと違って大変立派な方でございますので、粗相とかないと思いますのでご安心いただきたいというふうに思っております。それでは3年半大変ありがとうございました。



新旧会長幹事のバッジ交換と禪交換

○乾杯

吉野敬之直前会長



皆さん、ご準備のほうはよろしいでしょうか。私もつい最近まで忘れてたんですけど、私去年会長だったらしいです。なかなか聞けないレアな、多分乾杯の音頭だと思うんですけど。まずもって、鈴木会長、須藤幹事、本当に一年間、大変ご苦勞様でございました。お二人のおかげで今年一年間、非常に楽しい、そして素晴らしいロータリーライフが送れたかなというふうに思っております。それもそのはずで、やはりあの中目さんが三顧の礼にも等しい、そのような形で会長任命のほうをさせていただいたというような話を聞いて、とても私はうらやましいなというふうに思っております。実は私が任命された時は、鳴島さんが会長だったはずなんですけど、実はオフレコですけど私は鳴島さんから一度も依頼を受けたことはございません。これは本当にオフレコなんですけど、ある居酒屋で有名な人買いの方が私のところにやって来てですね、べろべろに酔っぱらって「誰誰にも断られた、誰誰にも断られた。お前がやらなかったら誰もいねえぞ。」と言われて、ヘネシーを1本入れていただいたんですかね。それで、僕は買収されて会長をやったと。そんな会長ですから、ろくなもんじゃなかったんです。ただ、今年の会長、幹事は本当に素晴らしい。中目さんの年度から始まりましたこのコロナという中で、本当に大変な時期を過ごしてこられたかと思えますけれども、その中でも非常に高い出席率、そして内容の濃い一年間を過ごしてこれたのも、やはりこの二人のその率先垂範という指導力があっての賜物だというふうに心から、笑ってますけども心から思ってます、本当に。と言っでは、ちょっと褒め過ぎだったですかね。そんなことはございません。さっき会長が先程最後に仰った、もしやれるものなら二度というのは、私は個人的には多分立候補だなどというふうに受け止めておりますので、もしそのような思いがある時にはこっそり言っていただければ、うちの人買いに動かさせますのでということで、本当に一年間ご苦勞様でしたということと、来年また頑張って一年間頑張っていきたいと思います。最後にですね、ついではございますが、横田君が頭取になってですね、ついではないですね。横田君が会頭になって白河の地にまた資金をジャブジャブくれるようにを祈願いたしまして、声高らかに乾杯をさせていただきたいと思っております。ご唱和お願いいたします。乾杯。





「鈴木孝幸会長・須藤正樹幹事
1年回顧」DVD贈呈

